

# オホーツク地方自然公園構想 国際シンポジウム 2010

オホーツクのテロワールを見つめて

- と き 2010年2月22日(月) 13:00~
- と ころ 紋別市文化会館
- 参加費 無料
- 主 催 オホーツク地方自然公園構想国際シンポジウム2010 実行委員会
- 協 賛 第25回北方圏国際シンポジウム実行委員会、北海道大学大学院農学研究院、  
財団法人北海道地域総合振興機構
- 後 援 北海道開発局網走開発建設部、北海道網走支庁、紋別市、紋別市教育委員会、  
北見工業大学、東京農業大学、日本政策金融公庫北見支店、フランス大使館経済部

## 第25回 北方圏国際シンポジウム・オホーツク流水の日協賛事業

恵まれた自然環境、産業、文化遺産を有するオホーツク圏域の新たな地域振興ビジョンを求め、フランスの地方公園制度を参考としたシンポジウムを開催。キーワードは「オホーツク・テロワール」。フランス語で「土壌」「風土」等を意味し、オホーツク圏の風土に根ざした持続可能な地域振興構想を探ろうとするものです。

### 【記念講演】 食・人・テロワールと地域振興

—食と自然・文化遺産の継承に寄せて—



講師：前パリ・ソルボンヌ大学総長  
フランス地理学会会長

ジャン・ロベール・ピット氏

【プロフィール】アカデミー・フランセーズ\*佩剣(はいけん)会員  
\*フランス養林(かんりん)院・フランス語の保存と純化を目的とする最古の学術団体。1635年にリシュリユーが創設した。会員40名。芸術・碑文・文芸、科学、人文・社会科学の4つのアカデミーと共に、フランス学士院を構成する。

●著書：「フランス景観史」、「美食のフランス」ほか多数

### 【ワークショップ】 オホーツク地方自然公園構想の 実現に向けて



—オホーツクの自然・産業・文化遺産とテロワール—  
会場参加者を含めたトークセッションを開催。

札幌ラウンド開催

2月24日(水) 北海道大学学術交流会館講堂

# オホーツク地方自然公園構想 国際シンポジウム 2010

主催：オホーツク地方自然公園構想国際シンポジウム 2010 実行委員会

会場：紋別市文化会館 3階特別会議室

〒094-0005 紋別市幸町3丁目1番8号 電話 0158-24-2111 (内線 414)

## シンポジウムの流れ

2010年2月22日(月)

12:30~13:00 受付

13:00~13:30 開会行事

13:30~14:30 記念講演

### 「食・人・テロワールと地域振興」

—食と自然・文化遺産の継承に寄せて—

講師：前パリ・ソルボンヌ大学総長、フランス地理学会会長

ジャン・ロベール・ピット氏

14:30~18:00 ワークショップ (会場参加者を含めたトークセッション)

### 「オホーツク地方自然公園構想の実現に向けて」

—オホーツクの自然・産業・文化遺産とテロワール—

## 参加申し込み

シンポジウム参加希望の方は下欄に記入の上  
FAXにてお申し込みください。

氏名			電話	
住所				
同伴者数	人	同伴者名		
ご意見等				

オホーツク地方自然公園構想  
国際シンポジウム 2010 実行委員会宛

**FAX.0158-24-2232**